

## 北陸カイロ同友会（北陸徒手医学研究会）そして金沢例会

報告者 高橋克典

同友会を設立して早いもので17年になった。当時、カイロ生誕 100 年祭 (1995 年) が東京で開催され、また2年後(1997年)に世界カイロ連合(WFC)の世界大会が東京で開催されたのを機に、カイロ業界統一に向けてカイロ連絡協議会が設立された。そしてカイロ業界が統一される?カイロが法制化される?との期待が一気に高まったが、こちらの思惑通りに行政が動いてくれずにご和算になってしまった。その後、一旦集まった団体も目標を失い散りぢりになってしまった。日本カイロアカデミー(NCA)も6年教育を実施していたが、カイロ連に教育を移管すると言うことで一時教育を中断していた。しかしカイロを勉強したいと言う声も多く、私が中繋ぎをすべく同友会の設立とあいなったのである。その後、NCAの教育が再スタートされたが、角野善則先生の急逝でNCAの教育が再び頓挫するなど相まって、現在も細々とではあるが金沢でカイロ教室を継続している。

勉強会では、月1回7時間のスクーリングを基礎過程2年間(24回)、臨床過程2年間(24回)行っている。基礎では、バイオメカと検査学・診断学、そして脊柱と四肢のテクニック、臨床では、筋骨格系の実践治療と内科学ほかを学んでいる。現在、在學生は9名、OBの先生も数名、熱心に再受講を続けている。石川・福井地区には別に例会がないため、同友会のスクーリングを例会としている。

自分の弱点が分からない人、基礎固めをしたい方は、金沢例会で系統的に勉強されることをお勧めする。変則的ではあるが7月から新年度が始まる。今年は基礎過程は四肢関節、臨床過程は頰蓋骨、眼科・耳鼻科から内科学ほかを1年間勉強する。

以下に7月からの講義予定を載せますので、ドンドン参加してビシビシ学生を指導して頂きたい。

講座名	曜日	時間	講師
解剖・生理・基礎の生物物理学	日	10:00-12:00	高橋克典
検査学・診断学	日	13:00-15:00	高橋克典
脊柱・四肢のテクニック	日	16:00-18:00	高橋克典
臨床過程(頰蓋骨・眼科・耳鼻科)	日	10:00-12:00	高橋克典

平成25年7月からの予定

基礎過程

回	日程	部位	内容
1	7月21日(日)	手指関節	カバンディ関節の生理学&検査学
2	8月4日(日)	〃	診断学&テクニック
3	9月1日(日)	肘関節	カバンディ関節の生理学&検査学
4	10月6日(日)	〃	診断学&テクニック
5	10月27日(日)	肩関節	カバンディ関節の生理学&検査学
6	12月8日(日)	〃	診断学&テクニック
7	1月19日(日)	足趾関節	カバンディ関節の生理学&検査学
8	2月2日(日)	〃	診断学&テクニック
9	3月2日(日)	膝関節	カバンディ関節の生理学&検査学
10	未定	〃	診断学&テクニック
11	未定	股関節	カバンディ関節の生理学&検査学
12	未定	〃	診断学&テクニック

臨床過程

回	日程	内容
1	7月28日(日)	頭蓋骨調整
2	8月25日(日)	顎関節の検査・診断・治療
3	9月29日(日)	リンパ液・血液循環の治療
4	10月20日(日)	眼科・耳鼻咽喉科疾患の検査・診断・治療
5	11月17日(日)	呼吸器疾患の検査・診断・治療
6	12月15日(日)	循環器疾患の検査・診断・治療
7	1月26日(日)	内分泌器疾患の検査・診断・治療
8	2月16日(日)	泌尿器・生殖器疾患の検査・診断・治療
9	3月16日(日)	消化器疾患の検査・診断・治療
10	未定	〃
11	未定	脳神経疾患の検査・診断・治療
12	未定	精神疾患の徒手的アプローチ

## 「受講生の声」

基礎過程1年生(1年目) 相川 葵 (鍼灸師)

臨床では鍼灸治療をさせていただいています。

高橋先生の講習会は、先に弟が受講させていただいていたので知っていました。私の実家の治療院では昔ながらの鍼灸を行っていました。弟はそこに新しい治療法を持ち込みました。患者様からの評価が高く、治療改善の効果も表れて喜ばれています。そのような治療を見ているうちに私も診断や治療技術を身につけたいと思うようになりました。

基礎科ではすぐに実技に入るのではなく、骨や筋の動きや、検査法、理論を細かく教わっていきます。鍼灸の学校で教わったことより細かく、また新しい知識をつけていきます。実技では臨床の場で危険がないように丁寧に一つ一つの動きを指導してください。また、実際に治療している患者さんのアドバイスも適宜いただくことができます。

受講されていらっしゃる先生は皆さん柔道整復師や鍼灸の資格を持っていらっしゃる、整体を仕事としてされている先生方です。その場で、様々な治療技術が披露されたり、情報交換の場所としてもとても有意義に思います。

カイロという少しこわいというイメージがありましたが、先生もとても優しく配慮もあり、よい場所にたどり着くことができ嬉しく思います。たくさんのお治療法や講義がある中で、高橋先生の講義はとても信頼できる講義だと思います。

迷われていらっしゃる方がおられましたら、見学されてみられることをオススメします。そのうえで、一緒に勉強ができると嬉しいです。

基礎課程2年生(2年目) 金 久申 (鍼灸師)

以前から日々の臨床で、物足りなさを感じていたところ、昔からお世話になっている先輩の紹介で入会しました。

初めの印象は、その治療効果の即効性でした。「痛い」「曲がらない」といった世間でいう、なかなか緩和されない症状が魔法のようにすぐ緩和されていく光景に魅力を感じ、またのめり込んでいきました。その方法が、薬でも機械で

もなく、「人間の手」であることの素晴らしさを今学べています。

私は、学んだことをすぐに臨床で使え、とても役立っていますが、それは診断学・治療学がしっかりと学べるからだと思っています。診断がしっかりできていれば、治療は最低限のテクニックを用いれば効果がでます。いかに患者さまの負担を最小限に、そして効果的に、安全に治療するか。

ここでは基礎から応用まで、しっかりと学べます。みなさんも、これからの治療が大きく変わることと思います。私はいま、患者さまの「驚きの笑顔」をたくさん見ることができ、とても幸せです。

#### 基礎過程 2 年生 (2 年目) 小松智充 (柔道整復師)

基礎課程において、カバンディで医学知識やいろんな検査法を再確認したり、また周りの先生方と意見交換など大変勉強になっております。単なるテクニックではなく、いろんなことに応用できるテクニックを教えていただいて、今後の仕事において役に立つ技術がたくさん学べる講座だと思っています。臨床現場において、分からないことなどの質問にも丁寧に答えていただいております。本当にありがとうございます。

#### 臨床過程 1 年生 (3 年目) 磯松俊也 (柔道整復師)

保健機関による我々医療への締め付けが益々厳しくなり、年々柔整師の数が増える一方であるのに市場は完全に飽和状態。生き残るためには他店との差別化、腕を上げる勉強しかないと考えて、いろんな勉強会やセミナーを検索したのですが、どこも高額な料金の割には稚拙なレベルの勉強会が多く、カイロ風マッサージ、理論ばかりで結局治せない、挙句には詐欺まがいの通信教育。

本当にゴッドハンドは実在するのか？東京にしかないのか？半ばあきらめていた所、一通の案内ハガキが届き、冷やかしがてらに見学した所、気さくな人柄の高橋先生に出会い、その高い治療技術と理論、学識の高さ、カイロプラクティックとオステオパシーの理論をベースとした独特の治療法は、一瞬にして私を虜にしてしまい「上には上がいるものだなあ」と感心してしまいました。

しっかりとした解剖学、病理学、整形外科的検査法は日常診療にも役立ち、毎回の勉強会が待ち遠しく、自分の治療家としてのレベルが上達してくると自

覚できることがとても嬉しいのです。

これからの時代、治療は個性化時代であり、患者さんに選別される治療院でなければ淘汰されて生き残ることはできないと思います。自己を研鑽し、腕を上げる勉強こそ、自らを助ける道であると私は信じています。

### 臨床過程 1年生 (3年目) 井原 亘 (柔道整復師)

日々の診療で「患者さんの痛みが取れない、治せない」と悩んでいる先生方に見え、ここへ来ればその原因が分かります。

しかし、高橋先生の施術をそのまま真似しても「患者さんは治せず」、「自分の治療スタイル」が崩れ、自分自身を見失うことがあります。ゆえに、自分のものに消化・吸収して日々の精進が必要であると思う今日この頃であります。

**朗報** 身体の不調の先生方、ここで治ります。それだけでも来る価値あると思います。

## 黒部の勉強会

山田 隆司

### \* 「法と概念」の分水嶺

「対象」と「六門」と「(触→) 識」の三要素が矢印でつながる瞬間が、心が生まれる瞬間であり、認知の最初の瞬間です。ここで間髪入れず「眼識が生じた」「耳識が生じた」……と気づくことができれば、事実の確認としてこれ以上ピュアなものはありません。「法 (ダンマ)」とは「真実の状態」を直接知覚することですが、まさにこの状態こそダンマに触れている一瞬だと喜んでよいでしょう。

しかし、ここでサティが入ることは通常はありません。「識」生じると同時に、感じる働き (感受作用) がセットでともなうのです。これは「受」と呼ばれます。強い真昼の陽射しが雪に反射すれば「眼識」に「苦受」がともなうように、

「受」には、「苦受」と「楽受」とニュートラルな「不苦不楽受」の三種類があります。「受」の発生に人為的操作の余地はありません。例えば、超激辛の食べ物を入れた瞬間の「苦受」は自動的です。

したがって、「識」→「受」と展開した次の瞬間にサティが入れば、法（ダンマ）の直接知覚が確認されているパーフェクトな状態だと思ってよいでしょう。ここで見事にサティが入った体験を持つ方は大勢いますが、いずれも集中が強力に高まった時に限られます。初心者には至難の業なので、ここでサティが入らないことを気にする必要はまったくありません。法の直接知覚が簡単にできるなら、誰も事実と妄想の混同に苦しんだりしなくなるでしょう。無明の闇を払うのは難事業だからこそ、「怠ることなく精進」していくのです。

さて、「受」の次に発生するのは「想（知覚）」です。「眼識・耳識・鼻識・舌識・身識・意識」が生じて、「受」が生じた段階でも、まだ情報の中身とは無関係ですが、「想」が起動すると対象の内容が知られます。白く光ったものが「雪」だと分かり、今、鳴った音は布団を叩く音だと一瞬にして情報の内容が分かるのは、「想」が機能したからなのです。瞑想の合宿中、喫茶コーナーに近づいた瞬間、「匂った」→「[コーヒーだ] と思った」と、「鼻識」→「受」→「想」の流れに従い、「識」と「想」を見事に仕分けてサティが入った人もいます。十二処の認知の流れは机上の理論ではなく、科学的にも検証できる認知システムの解説なのです。

六門を通して心に届けられた情報の内容を知ること、生きていく上で極めて重要なのに、その役割をになった「想」はしばしば間違いを犯します。「六門」「識」「受」の機能は安定した自動的なプロセスでしたが、「想」の働きは個人差が著しく、肝心の情報の読み出しが事実と正確に対応した正しい場合もあれば、とんでもない間違いやデタラメも多いのです。「想」は、まさに事実の世界と妄想の世界が分かれていく分岐点に当たります。

#### \*心の暗室

夕暮れ時の山道で、古いロープを眼にした瞬間「蛇だ！」と錯覚し、恐怖に震えた人がいます。対象と眼門と眼識がリンクしただけでは、何を見たのかまだ蛇ともロープとも分かりません。次の「受」の段階でも情報の内容は知られません。ただ「見た」とサティを入れ、眼に対象が触れた事実が確認されるだけです。情報の歪みが生じることはありません。

問題は「想」が機能する一瞬です。蛇とロープを誤認するという、間違っただけの情報の読み出しが提示されてしまったのです。このような誤認や錯覚が起きてしまうのは、認知システムの構造的欠陥なのかもしれません。六門に飛び込んできた新しい情報を、過去の記憶データと照合しながら内容の特定をするとい

うやり方では必ず間違いが起きてしまうのです。特に人間の場合は、概念を形成し妄想する能力に長けている分だけ事実は深刻です。

例えば、朝、民宿を出がけに「蛇が多いので気を付けなさい」と軽く言われた一言が、情報の歪みに一役買っているかもしれません。蛇の咬まれた体験がある人とならない人では瞬間的な妄想の膨れ方が違うでしょう。臆病なのか、攻撃的なのか、何に劣等感を持っているのか、慈悲の瞑想を知っているのか、自己中心的な発想パターンの有無は……等々、潜在意識では、無数の要因が千分の一秒や万分の一秒の速さで働いて、情報処理の正確さや加工・歪曲などに影響を及ぼしています。

ロープをロープとして正しく認知する人もいるのに、このケースではなぜ、ロープを蛇と見間違える不正確な対象認知が起きたのか。一言で言えば、心に偏りがあったからです。心の中が平静で、公平に、客観的に情報処理ができる状態ではなかったのです。「想」の働きを妨害し、過たせるのは、心の汚染です。

#### **\* 事実を認める深さ**

起きた出来事をありのままに認めるのが、ヴィパッサナー瞑想です。すべての事象を客観視する訓練が、エゴを対象化していくことにもつながっています。

ロープを蛇と錯覚したのなら、それはそれで事実なのだから仕方がないではないか、と考えます。ヴィパッサナー瞑想は、価値判断を超えた世界です。事実に気づくことができた時点から、立ち直っていけばよいのです。サティを入れる順番として、ロープを「見た」とラベリングして誤認しないのがベストですが、到底そこはサティが入らないでしょう。「〔蛇だ〕と思った」「〔蛇ではないか〕と推定した」とラベリングして、蛇だと思った事実を対象化できれば素晴らしいのですが、これも難しいでしょう。

どの段階でもサティが入れば、心は必ず落ち着くのですが、サティを忘れていれば一瞬にして「蛇」と決めつけ、恐怖などの次の反応が起き上がって、パニックに巻き込まれてしまいます。

「〔蛇だ〕と思った」というサティが入らなければ、それはそれで事実ですから仕方がありません。次の事実に気づいて、「恐怖」「あわてている」「パニック」など、その時点での状態にサティを入れるのです。そのサティが入れば、一連の事象の流れは必ず止まります。あわてるのも、恐怖感を覚えるのも、恐怖をエスカレートさせるのも、パニックになるのも、すべて、次々と妄想を繰り広げていく自分の心が演出していることなのです。サティが入れば、そうした思考の流れに楔が打ち込まれ、後続が絶たれて必ず止まります。その瞬間に、落ち着きや冷静さがもどってくるでしょう。冷静になれば、事実が正確に

見え始めます。正しい対象認知と状況把握ができれば、正しい決断を下し、最良の対応ができる可能性が高まるというわけです。

#### ★分け入っていく注意

「想」が機能し情報の中身が特定された瞬間、もっと詳しく情報を知ろうとして、心はどこか一点にフォーカスされていきます。人と出会い、顔を見た次の瞬間、眼の表情は？ 顔色や肌の輝きは？ 化粧は念入りか適当か？ ……と、さらに詳細な情報を得ようと、注意が向けられるのです。その働きを「尋」と言います。「想」の段階でサティが入れば、そこで後続が絶たれるので、「尋」が対象に分け入ることはありません。しかし普通にしていれば、台所から何かの匂いが漂ってきた瞬間、「何の匂いだろう」→「魚を焼いているのか」→「サンマだろうか、サバだろうか」……と、自分の意志で「尋」を振り向けながら分け入っていきます。

「尋」を働かせているのは、興味や関心やコンプレックス、あるいはその時々  
の欲望や怒り、執着など、自分の心の背景となっているすべてです。「尋」には比較的サティが入りやすいので、自分の注意が何に向けられていくのかを自覚し、自己理解を深めることが大事です。

六門からは一瞬も途切れることなく、膨大な情報が乱入しています。対象が意識に接触すれば、自動的に「受」が発生します。現在の瞬間に気づく訓練をしていなければ、「苦受」が生じた瞬間、「嫌悪」→「怒り」→「激怒」と自然に展開してしまうのが人の心です。同様に「楽受」が生じれば、「欲」→「貪り」→「執着」……とエスカレートしていきます。つまり、あらゆる情報が欲望系の煩惱か怒り系の煩惱に発展する基本傾向があるということです。そのように心のドミノが倒れていくのは、「尋」が無自覚に機能していった結果です。自然放置された生命は、快感を求め、不快感を避けようとする「快楽原則」で生きるようにプログラミングされているのですから当然です。

「尋」が何に向けられていくかによって、次の瞬間に起動する「反応の心」の方向が定められていきます。缶ジュースを足に落とされて痛みを知覚した次の瞬間、「尋」が何に向けられていくのか。体の状態に神経質なタイプであれば、落とした相手の確認などよりも、怪我をしたのかどうか確かめる方向に「尋」が向けられるかもしれません。痛みを感じた次の瞬間、落としたのは一体誰だ、と注意が向くタイプの人なら、相手の顔に視線を向けようと「尋」が働くでしょう。顔を確かめ、自分のほうが勝てそうと判断すれば次の瞬間、何と云って怒鳴りつけるか、その言葉を選ぶ方向に「尋」が向くかもしれません。相手が強そうだったら……と、このように、「尋」→「反応系の心」は連動し、いずれも当人の心の全体が深く関わって一瞬一瞬の方向が決められていくのです。



絶えず正しい浄らかな方向を目指していく意志を持つことが、「尋」を善なるものに向かわせ「反応系の心」を浄らかなものにしていくでしょう。苦のない人生を具現化していく技術とは、認知プロセスのそれぞれの段階で心を浄らかにしていくことにほかならないのです。

(続く)

## ■勉強会のお知らせ

- |       |              |                       |
|-------|--------------|-----------------------|
| ●富山例会 | 第2、第4金曜日22時～ | 高橋カイロプラクティック<br>全尽堂にて |
| ●黒部例会 | 第3金曜日21時～    | みやざき接骨院にて             |
| ●金沢例会 | 勤労者プラザにて     | (問合せ：高橋克典まで)          |

## 会計からのお知らせ

今年度の年会費を未納の先生は納めくださるようお願いいたします。

## 編集後記

こんにちは！ 宍戸 るるみです。

4月に入ってだんだん暖かい風になり桜も例年より開花が早まりました。歓送迎会の季節でもあります。先日、知り合いの方が18歳～65歳まで47年間、同じ会社にお勤めされ退職され、少しお話をする機会があったので、寂しくないですか？と質問したら、全然寂しくないよ。悔いもなくまっとうした！との事でした。一つの事をまっとうした方の姿はとても清々しく素敵に見えました。私も、日々のストレスはあるが、今の仕事をまっとうして、悔いのない人生を送りたいと改めて思うことが出来た出来事でした。皆さんも悔いの残らない人生を送ってください！

とりあえず、私は日頃のストレス解消に桜でも鑑賞してきます(笑)